

TGM

切断の価値を高める

ボッテロ社 国内最大の導入実績

TGM(東京都千代田区、弘中崇社長、03・6261・1260)は、イタリア・ボッテロ社の切断機を販売する。ボッテロ社はガラス切断機を中心に、面取り機、合わせガラス製造ラインなどを製造しており、ガラス切断機のトップブランドとして世界に名をはせる。高い信頼性と先進技術は国内でも圧倒的な支持を獲得しており、合わせガラス切断の価値を高め、国内最大の導入実績を誇る。ラインアップは、ベストセラーモデルの「520LAMe」、シリーズ最高の生産性と省人化を実現する「548LAM」など幅広く展開。Low-E膜除去、20ミリの耳取り加工など現場の多様なニーズに対応する。

「548LAM」はシリーズ最高の生産性と省人化を実現。革新的なヒ



ーティングシステムの採用で、大幅な消費電力の削減、サイクルタイムの短縮が可能。克蘭ピングシステム(ゴム風船方式)はガラスへ均一かつスムーズに圧力を分散させ、ガラスへの過度なストレスを軽減する。自動回転システムは、正確でスピーディーなガラスのポジショニングが可能。自動で20ミリの耳取りができる(二部条件あり)。

ボッテロ社の合わせガラス切断機「548LAM」(上)と「520LAMe」

「520LAMe」は「548LAM」よりオペレーターのハンドリングが増えるものの、性能と価格のバランスが良く、特に小・中規模の生産量の顧客に好評。Low-E膜の除去では、切断機の中でもトップクラスの性能を誇る。自動位置決めブリッジでガラス搬送作業を支援。積載・荷降ろし作業を効率化する専用設計となっている。

自動・省人化を支援

ボッテロ社は切断機だけでなく、ソフトウェアと設備を連動させることで、事務所からデータをガントリーシステム、シヤトルシステムなどの自動倉庫装置に転送し、採板から切断までを自動化できる。深刻化する人手不足への解決策として、自動化・省人化を強力にサポート。ガラスの品種が増えても、在庫スペース、切断スペースを最大限に有効活用できると高い評価を得ており、生産効率の向上、安定した品質管理を同時に実現する。